

# 創域理工学研究科 数理科学専攻授業科目表（修士課程）

## 【専門科目・修了所要単位数:28単位】

授業科目名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
<b>専門分野(選択)</b>			
<b>構造数理</b>			
代数学特論A	2		数選
代数学特論B	2		数選
代数学特論C	2		数選
代数学特論D	2		数選
<b>空間数理</b>			
幾何学特論A	2		数選
幾何学特論B	2		数選
幾何学特論C	2		数選
幾何学特論D	2		数選
<b>基幹解析</b>			
解析学特論A	2		数選
解析学特論B	2		数選
解析学特論C	2		数選
解析学特論D	2		数選
<b>応用数理</b>			
応用数理特論A	2		数選
応用数理特論B	2		数選
応用数理特論C	2		数選
応用数理特論D	2		数選
<b>専門分野</b>			
<b>共通(必修10単位)</b>			
数理科学修士研究1	2		
数理科学修士研究2	2		
数理科学修士研究3		2	
数理科学修士研究4		4	
<b>共通(選択必修12単位)</b>			
代数学輪講A	4		数選
代数学輪講B	4		数選
代数学輪講C	4		数選
幾何学輪講A	4		数選
幾何学輪講B	4		数選
幾何学輪講C	4		数選
解析学輪講A	4		数選
解析学輪講B	4		数選
解析学輪講C	4		数選
<b>共通(選択)</b>			
数理科学修士特別講義A	1		
数理科学修士特別講義B	1		
数理科学修士特別講義C	1		
数理科学修士特別講義D	1		

## 【修了所要単位に含まない科目】

授業科目名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
<b>共通(随意科目)</b>			
教職教育専科B	2		
専門教育プレゼンテーションA	2		
専門教育プレゼンテーションB	2		

### 【教免区分】

教育職員免許状取得のための単位認定区分を示す。  
 <大学が独自に設定する科目(数学)>  
 数選 → 数学の選択科目  
 注 教育職員免許状取得希望者は、大学院要覧『教職課程について』(P.68)を必ず参照すること。

## 【一般教養科目・修了所要単位数:2単位】

授業科目名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
<b>選択必修科目(2単位)</b>			
<b>教養(共通)</b>			
<b>自然を学ぶ科目群</b>			
Basic Biomedical Science	2		
固体地球科学概論	2		
<b>人間と社会を学ぶ科目群</b>			
<b>人文学系</b>			
異文化セミナーA	2		
異文化セミナーB	2		
<b>社会科学系</b>			
国際経済学特論	2		
経営行動科学特論	2		
社会的選択理論およびマーケット・デザイン	2		
<b>キャリア形成を学ぶ科目群</b>			
<b>知的財産系</b>			
知的財産特論	2		
知的財産と法制度	2		
<b>キャリアデザイン系</b>			
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
生命保険数学	2		
学校インターンシップ(アドバンス)	1		数選
教授メディア学習論	1		数選
数学科探究学習論	2		数選
<b>外国語を学ぶ科目群</b>			
<b>英語系</b>			
Presentation Skills	2		
Academic Writing	2		
Critical Thinking	2		
<b>領域を超えて学ぶ科目群</b>			
<b>科学技術社会論系</b>			
科学・研究と倫理	2		
<b>情報学・環境学系</b>			
環境政策論	2		
統計解析	2		
防災科学特論	2		
<b>健康・スポーツ系</b>			
運動処方実践演習	2		
生涯スポーツ実習1	1		
生涯スポーツ実習2	1		
<b>ゼミ・特別講義系</b>			
がんを知りがんと闘う	2		
エネルギー環境セミナー1	1		
エネルギー環境セミナー2	1		
防災科学概論	2		
創域融合特論A	1		
創域融合特論B	1		
医理工学特論	2		
エネルギーシステム工学特論	2		
農理工学特論1	2		
都市防災特論1A	2		
都市防災特論1B	2		
宇宙理工学概論	2		
DX特論	2		
人間安全衛生特論	2		
教職教育専科A	2		
人間安全理工学セミナー1	1		
人間安全理工学セミナー2	1		

### 【履修方法】

- 必修科目10単位、「代数学輪講A～C」「幾何学輪講A～C」及び「解析学輪講A～C」のうち、自己の指導教員が担当する選択必修科目12単位及び一般教養科目を含めて30単位以上を修得すること。
- 一般教養科目については、教養(共通)科目から合計2単位を修得すること。また、2単位を超えて修得した単位は修了所要単位には含まない。なお、教養(共通)科目には、所属専攻以外の専攻課程及び他の研究科で修得した教養(共通)科目の単位も含まれる。
- 他専攻の随意科目を履修した場合、自専攻でも随意科目となり、修了所要単位に含めることはできない。
- 「教職教育専科B」・「専門教育プレゼンテーションA」及び「専門教育プレゼンテーションB」については修了所要単位には含まない。
- 「学校インターンシップ(アドバンス)」・「教授メディア学習論」・「数学科探究学習論」については教職課程登録者に限り履修することができる。
- 研究科の定めるところにより、次に掲げる授業科目を履修することができる。  
 (1)所属専攻以外の専攻課程による授業科目  
 (2)他の研究科の授業科目  
 (3)他大学の大学院の授業科目  
 (4)学部の授業科目  
 (1)～(3)に規定する授業科目において修得した単位は修了所要単位として認定できる。ただし(3)は15単位を限度とする。